

質問・回答書

令和7年7月7日

名称：第3次北広島町長期総合計画等策定支援業務

	質問	回答
1	(様式3) 業務実績書 1社を筆頭に複数社でのコンソーシアム型でのご提案を検討しております。業務実績書に各社の実績を記載してよいのでしょうか？	コンソーシアム型での提案の場合、各社の実績を記載いただいて構いません。ただし、記載件数は、様式どおり合計で5件以内としてください。
2	実施要領11 企画提案書等の提出手続き（選定審査）（2）作成方法 「企画提案書は、片面印刷、カラー可、20ページ以内、本文フォントサイズ 10.5 以上で作成すること。」とありますが、表紙や仕切りなどは1ページにカウントされない認識でよろしいでしょうか	表紙、目次等含めて20ページ以内で作成してください。 なお、表紙、目次の作成は必須ではありません。
3	仕様書5 業務内容（2）アンケート調査の実施 費用見積もりの参考までに、第2次長期総合計画作成時のアンケートの実施方法(紙で郵送、メール、webアンケート、その他町のツール活用など)、質問数、解答方式（マーク、自由回答等）をご教示いただけますでしょうか？	アンケートは郵送とWebフォームの併用で行いました。 アンケート項目等については、Webで公表しておりますのでご確認ください。 https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/soshiki/4/1221.html
4	仕様書5 業務内容（2）アンケート調査の実施 「調査表作成・印刷、配布、回収、集計・分析に係る費用の一切は本業務の費用に含めること。」とありますが、紙でのアンケートでの実施が前提となりますでしょうか。それともWebアンケートなど、別の手段でのご提案も可能でしょうか	Webアンケートなどオンライン回答も可です。より回収率や精度が高まるご提案をいただければと思います。
5	「町民を対象とし、2,000 人程度の抽出調査とする。」「なお、対象者の抽出、宛名ラベルの作成は町が行う。」とありますが、抽出者以外に独自ツール（紙媒体、デジタル媒体）を活用し、調査対象数を拡大することは可能でしょうか。また、アンケートの回答率を上げるための独自施策（回答者へポイント付与する）は可能でしょうか	本仕様書は業務の提案をするにあたり、最低限の必要事項を記載しており、記載のない事項に関する提案を妨げるものではございませんので、調査対象の拡大や独自施策を実施することは差し支えありません。より回収率や精度が高まるご提案をいただければと思います。

	質問	回答
6	仕様書 5 業務内容（3）ヒアリング、ワークショップ等の実施 「相手方は町と受託者双方で協議して決定するが、若者・移住者・子育て世代・外国人や、町内企業、各種団体など地域の多様な主体を想定している。」とありますが、想定されている回数や頻度をご教示いただけますでしょうか？可能であれば、第2次長期総合計画作成時のワークショップをベースにご教示いただけると幸いです例：月2回×半日×1年間	第2次長期総合計画後期計画策定時の回数等は次のとおりです。 インタビュー型ワークショップ：2日、7回 団体ヒアリング：2日、20団体（ペーパー回答のみの団体含む）
7	仕様書 5 業務内容（5）計画書（本編,概要版）のとりまとめ支援 第3次長期総合計画における「めざすまちの将来像」は、第2次長期総合計画で設定された将来像を前提として踏襲する必要があると思いますでしょうか	第3次長期総合計画は、まちづくり総合委員会での審議を踏まえ策定いたしますが、現計画である第2次長期総合計画の延長や改訂を前提としたものではございません。 しかしながら、「仕様書 5 業務内容（1）各種基礎調査および長期総合計画の進捗状況の分析・整理イ 現行計画の評価」に記載のとおり、本町の現状分析を踏まえ、計画の進捗状況、施策の実施状況の分析・整理を行ったうえで計画の策定を行うこととしています。